

# 令和8年度予算見積調書

課室名: こども安全課  
担当名: 児童虐待対策担当  
内線: 3335

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
S270	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業			一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	児童虐待防止対策費			
事業期間	令和4年度～ 法 令	根 拠 児童福祉法第11条、12条 児童虐待防止等に関する法律第4条 等 (義務)		針路 分野施策	04 0403	子育てに希望が持てる社会の実現 児童虐待防止・社会的養育の充実		SDGsゴール SDGsターゲット	16 16-2		
1 事業概要	<p>音声認識による記録の作成により定型業務の自動化を行い業務の効率化を行うとともに、ベテラン職員のノウハウに基づくヒアリング補助機能により若手職員の能力の底上げを図るほか、各児童相談所にスキャナーを導入し、児童相談所のペーパーレス化を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業 音声認識システムの運用等 11,572千円 スキャナ導入によるペーパーレス推進 2,438千円</li> </ul>			5 事業説明	<p>(1) 事業内容 ・ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業 音声認識による記録の作成により定型業務の自動化を行い業務の効率化を行うとともに、ベテラン職員のノウハウに基づくヒアリング補助機能により若手職員の能力の底上げを図る。また、児童相談所にスキャナーを導入し、ペーパーレスを推進する。</p> <p>(2) 事業計画 ・構築システムの運用保守業務</p> <p>(3) 事業効果 ・児童福祉司が相談業務などの主業務に注力できる環境を整えることにより、複雑化する児童虐待事案等に対して迅速できめ細かい対応が可能になる。</p> <p>(4) 活動指標 (アウトプット) ・音声認識システムを使用した場合の1件あたりの業務時間削減効果 電話相談記録作成 △33% 面談記録作成 △44% 議事録作成 △60%</p> <p>(5) 成果指標 (アウトカム) ・児童虐待死亡事例 0件</p>						
2 事業主体及び負担区分 【こども家庭庁】 児童虐待対策等総合支援事業費等国庫補助金 スキャナーの導入 (国1/2、県1/2) 他 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900万円											

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金							
決定額	14,010	1,219						12,791	3,054
前年額	10,956							10,956	

## 事業内訳書

事業名	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業		
単位事業名	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業	予算額	14,010千円

### ○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・児童福祉費補助金	1,219	1,219	【こども家庭庁】 児童虐待対策等総合支援事業費等国庫補助金 補助率 1/2
一般財源	12,791	1,835	
合計	14,010	3,054	

### ○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	220	220	パソコン用フィルター等購入費
委託料	11,352	396	音声認識システム 運用保守業務
備品購入費	2,438	2,438	スキャナー購入費
合計	14,010	3,054	